2023.5.29

PFAS（有機フッ素化合物）規制に関する分析のご案内

～エコテックス®による有機フッ素含有量以外に、全フッ素含有量～

スポーツ・アウトドア衣料等に必要不可欠な撥水・撥油機能に使用される加工剤の一部には、環境や人体への影響が懸念される有機フッ素化合物（PFAS）が含まれるとされ、すでに有害性の認められた PFOS や PFOA などが「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」（化審法）で規制されています。

そのような中、昨年から一般新聞・テレビ等のニュースでも、PFAS を原因とする環境汚染が取り上げられはじめるなど、今や大きな社会問題となっており、各地方自治体等はこの対応に追われている状況です。※参考：NHK ウェブサイト【PFAS 汚染 全国マップ】

また欧州では 2023 年 1 月に有機フッ素化合物（PFAS）自体を規制する提案が欧州化学品庁（ECHA）に提出され、ますます PFAS 規制が加速すると言われており、化学物質管理の厳格化が各企業に一層求められる状況となっています。もちろん日本も、例外ではありません。

ニッセンケンが加盟するエコテックス®国際共同体では、スタンダード 100 認証やエコパスポート認証において、従来から個別の有機フッ素化合物を規制しており、さらに 2023 年 4 月から“ Organic fluorine content（有機フッ素含有量）”の規制項目を追加し、その強化を図っています。従来の有機フッ素化合物 34 種に加え、有機フッ素含有量も、エコテックス®スタンダード 100 の製品クラス I 及びエコテックス®エコパスポートでは規制値：10 mg/kg の規制となります（エコテックス®スタンダード 100 製品クラス II～IVは 2024 年 1 月 1 日より適用、なお用途によっては一部特例もあります）。

STANDARD 100

ECO PASSPORT

ニッセンケンでは繊維等関連産業の有害化学物質管理のサポート業務を強化しています。エコテックス®認証試験による有機フッ素含有量以外にも、全フッ素含有量の分析も対応可能です。分析試験のご要望、また化学物質管理に係るご相談等がございましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

＜お問合せ先＞
一般財団法人ニッセンケン品質評価センター
ライフ アンド ヘルス事業本部 エコテックス®事業部
E-mail : oeko-tex@nissenken.or.jp
お問い合わせフォーム：https://nissenken.or.jp/contact/